

広報

SHOBARA the public information magazine

しゅうばら

9

2023/September
No.222

美しく輝く 里山共生都市



光に包まれる帝釈峡

8月4日～20日、名勝・国定公園帝釈峡記念事業の一環として「帝釈峡ライトアップイベント」が開催され、帝釈峡の永明寺周辺が温かい光に包まれました。4日にはオープニングイベント、20日にはクロージングイベントも行われ、多くの人でにぎわいました。(関連記事：裏表紙)



太鼓の演奏や書道パフォーマンスなどのステージイベント



入江嘉則神石高原町長、西田篤史さん、松本裕見子さん、木山耕三市長によるトークショー



にぎわう会場

- 2 市民のページ
- 3 こうすりゃ〜ええ農
／庄原が好き
- 4 シルバーリハビリ体操
- 6 世界アルツハイマー月間
／安心・安全な毎日のために
- 8 ほのぼのネット通信
／コミュニティ助成事業
- 9 健康広場
- 10 市政トピックス
- 12 令和5年度二十歳を祝う会
- 14 新型コロナワクチン秋開始接種
／カメラレポート
- 16 お知らせ
- 24 出張！市政トピックス

がんばれ！
スポーツ少年団

●東城サッカースポーツ少年団

「東城をサッカーの町に！」を合言葉に昭和51年に設立しました。サッカーを通じて、協調性や自主性を育むことを目的に活動しています。指導者をはじめ、OB・OGの皆さん、地域の方々や保護者など、たくさんの「サポーター」に支えられながら、現在37人の団員が、毎週火・木・土曜日に東城小学校のグラウンドで元気いっぱいボールを追いかけています。団員を随時募集しています。体験入団もできますので、まずは気軽に練習に参加してみてください。



営農指導員の
ワンポイントアドバイス

営農指導員 若山 謙

9月は野菜栽培の繁忙期！

9月は、葉菜・根菜類の種まき、育苗・植え付け、間引き、追肥・土寄せなどの作業が並行的に行われ、繁忙期を迎えます。

適度な降雨があると、秋野菜の植え付けも順調に進みます。植え付けの際には高畝にして湿害を防ぎましょう。夏の暑さが落ち着き、気温が上がらなくなってきたら、十分な生育量が得られなくなりま

す。残暑が続いているうちに、種まきや植え付けを済ませるようにしましょう。

種まき
ホウレンソウ、コマツナなどの種まきが本格化します。暑さが続いている場合は、種まき後に遮光ネットなどで被覆します。ネットを張ったままでと徒長（茎や枝が必要以上に伸びること）しやすく

なるため、本葉が4〜5枚になったら取り除きます。ホウレンソウは特に暑さに弱いので、涼しくなるのを待ってから種をまきます。

植え付け
レタス、ブロッコリーの苗は、本葉4〜5枚に育った頃が植え付け

適期です。ブロッコリーは畝幅60センチ、株間45センチに植え付けます。レタスはポリマルチを張り、植え付けます。気温の高い時期は白黒マルチ（表が白・裏が黒）、定植時の気温が下がるにつれて黒色マルチ（表が黒）を使います。

間引き
筋まきをしたホウレンソウ、コマツナは発芽後に密生している株を間引き、本葉2〜3枚の頃に株間3〜4センチにします。

台風に備える
適度な降雨は、恵みの雨。となく一方、長雨・台風は農作物の作況に大きく影響します。台風が発生したら被害軽減を図りましょう。

①菜園を囲むように暴風ネットを張る。
②種まき、植え付け間のない野菜には寒冷紗やネットを直掛けして保護する。
③生育中のブロッコリー、キャベツ、ネギなどは株元に土寄せを行う。
④風で傷付きやすいナス、ピーマン、キュウリなどの果実は小さくても早めに収穫する。
⑤台風通過後には株の倒伏、茎葉の損傷、病気の誘発などがあるため、早めに殺菌剤を散布する。

問い合わせ
農業振興課農業振興係
☎0824・73・1131

なごみま★
おジョット

保田 やすだ
R1年12月28日生まれ
李里花ちゃん（東城町）
父母より：弟とけんかもするけれど、お姉ちゃんらしくなりました。元気に、大きくなーれ！

保田 やすだ
R3年7月27日生まれ
漣くん（東城町）
父母より：かんしゃくを出し、困らせるけど、笑顔がかわいいよ！

保田 やすだ
R5年5月17日生まれ
蒼来ちゃん（東城町）
父母より：生まれできてくれて、ありがとう！すくすく、大きくなーれ！

まちづくりを進める市民活動登録団体
をご紹介します！

市は市内で活動している市民活動団体の登録制度をつくり広く公開しています。市民活動の充実、まちづくりの連携や協働を進めるため情報をお届けします。



庄原花のまち応援隊

活動 花を活用した市街地のにぎわいづくり

私たちは、庄原市街地（まちなか）のにぎわいづくりのため、「花でにぎわうまち」をコンセプトに「花と緑があふれるまちづくり事業」を令和3年4月からスタートしました。

「庄原の魅力を伝えたい」という願いのもと、市役所本庁舎を中心に年2回（春・秋）、四季を彩る花を300個のプランターに植栽しています。

植栽は小中学校・高校・特別支援学校の児童生徒に協力してもらい、プランターの水やりなどは設置した個人宅・商店の皆さんに関わってもらっています。これらの取り組みを続けてきたことで、私たちの活動を知ってくれている人が増えてきました。

今後も地域内の皆さんとつながり、にぎわいづくりを目指して取り組みを進めていきますので、ご参加・ご協力をお願いします。



【問い合わせ】
庄原自治振興センター内 ☎0824-72-3777

市民活動団体登録をしませんか？

市は随時、登録を希望する市民活動団体を募集しています。詳しくは、自治定住課自治振興係（☎0824-73-1209）まで。

庄原が好き



比和町の人と自然が大好きな
足立 綾子さん

一度は比和町から離れても「やっぱり比和がいい」と帰ってくることを選んだ足立さんに、話を聞きました。

比和の自然が大好き
私は三次市で生まれ育ち、建設会社を営む夫と結婚して比和町に移り住みました。結婚前から山登りなどで比和にはよく来ており、自然が豊かな場所に住めることがうれしかったです。

結婚当時は、夫の会社が本場に忙しく、私も建設業に携わりました。元々乗り物を運転することが好きだったので、4トントラックに乗ったり、重機の免許を取得したりしました。道路の草刈りもして、冬には早朝から除雪車のオペレーターに連絡するなど、何でもこなしました。結婚前までしたこと

のなかった農業も始め、いつも体を動かしていたと思います。
今から約14年前、建設会社を廃業し

た後に夫が亡くなりました。友だちや地域の人たちに支えてもらいながら一人で暮らしていましたが、私が体調を崩したこともあり、石川県金沢市に住む娘のところへ移り住むことになりました。

比和町に帰りたい
金沢市での住まいは、商業施設や病院などが近くとても便利でしたが、その分交通量が多く、ずっと静かな場所で暮らしてきた私には合わないと感じました。比和の人と自然が恋しくなり、悩みましたが約3カ月後に比和に戻ってくることを決断しました。

比和に帰ってきた時、周りの人たちの反応が少し心配でしたが、みんな「お帰り！」と言ってあたたかく迎えてくれて、「やっぱり私の住む場所はここだ」と実感しました。

比和に帰ってきて4年。社会福祉協議会のボランティアや町内のそば店の手伝いに出たり、豊浦さん（8月号掲載）の寺ヨガに参加したりしています。なんでも話せる友達がいって、やっぱり比和が一番好きだと思えますし、ずっとここに住み続けたいと思っています。
問い合わせ
自治定住課定住推進係
☎0824・73・1257

● 指導士の活動や参加者の声を紹介します

地域のデイホームやサロンからの体操の申し込みを受け付けているほか、指導士会主催の定例教室を各地域で開催しています。

本年度は新たに「東・山内」「高野」の2地域で定例教室が立ち上がりました。ぜひ一緒に体操しましょう！

【指導士会主催の定例教室一覧】(R5.7.31時点)

地域	曜日	とき	ところ	問い合わせ
庄原	第3火曜日	13時30分～14時30分	庄原自治振興センター	高齢者福祉課 地域包括支援センター係 ☎0824-73-1165
峰田	第1木曜日		峰田自治振興センター	
敷信	第4木曜日		敷信自治振興センター	
東・山内	第3木曜日		東自治振興センター	
西城	第3水曜日	13時30分～15時	西城保健福祉センター しあわせ館	西城支所地域振興室 ☎0824-82-2202
東城	第1月曜日 第3水曜日		東城自治振興センター	東城支所市民生活室 ☎08477-2-5131
高野	第3木曜日	9時30分～11時	湯川コミュニティセンター	高野支所地域振興室 ☎0824-86-2115

【参加者の声】

- 体操もですが、同じ年代の指導士が体験談を基に話をしてくれるので非常に役に立ちます。「私も膝が痛いんですよ」と言われると、一緒だな～と思い、勧められた体操を続ける励みになります。
- 体操を通じて地域の人と交流することができて、うれしかったです。

【指導士の声】

- みんなが定期的に集まって、楽しく会話をすると元気になります。今後も自分のため、地域のために、みんなと励まし合って体操を継続していきます。



● 動画でも紹介しています

市と指導士会が共同で普及啓発動画を作成しました。体操の紹介はもちろん、実際の指導士の活動の様子を Youtube で見ることができます。

また、市役所本庁舎1階市民ホールや西城市民病院でも上映していますので、ぜひご覧ください。

健康寿命を延ばすには？
「シルバーリハビリ体操」
をおススメします



庄原市シルバーリハビリ体操 ～1級指導士が誕生～

高齢者福祉課地域包括支援センター係 ☎0824-73-1165
保健医療課健康推進係 ☎0824-73-1255

市は、住民参画型の介護予防事業としてシルバーリハビリ体操を推進しています。シルバーリハビリ体操は、スポーツやリズムに合わせた運動とは違い、道具を使わず「いつでも・どこでも・ひとりでも」できます。体操を指導するのは、市が実施する養成講習会を修了した60歳以上の「指導士」で、体操の普及と住民主体の地域づくりに取り組んでいます。

● 1級指導士の養成

令和5年6月時点で、119人の2級指導士(※1)が、地域のサロンやデイホームなどの集まり場で体操教室を中心に活動しています。

また本市では、これまで1級指導士(※2)の養成を行っていませんでしたが、昨年度から養成を開始し、今回新たに6人の1級指導士が誕生しました。

1級指導士は、2級指導士養成講習会の講師役に加え、介護予防の知識とリハビリ体操の普及啓発のため、指導士の中心的な役割を担っていきます。



▲1級指導士と体操を推進する関係者の皆さん

※1…2級指導士養成講習会の全課程(8日間40時間)を修了した人を市が認定しています。

※2…2級指導士として2年以上活動し、庄原市シルバーリハビリ体操指導士会から推薦された人で、講習(4日間20時間)と実習(8日間40時間)をすべて修了した人を市が認定しています。

【1級指導士の声】

- 受講生が体操の目的を理解し、楽しく講習を受けてもらえるように、1級指導士6人がチームとなり、頑張っていきたいです。また、多くの人に体操に興味を持ってもらい、高齢になっても地域の人が通いやすい体操教室を目指しています。

● 一緒に地域で活動しましょう！ 秋の2級指導士養成講習会受講生を募集中です

自分の健康のために、地域の周りの人と一緒にシルバーリハビリ体操活動をしませんか？現在、2級指導士になりたい人を募集しています。希望する人は高齢者福祉課までご連絡ください。

講習日程

9月27日～11月15日 毎週水曜日(全8回)

10時～16時

受講対象者

- 60歳以上の庄原市民
- 積極的にボランティア活動ができる人



【2級指導士の声】

- 知れば知るほど、この体操の必要性和効果が分かりました。高齢化率の高い地域に住む私たちは、自分でできることに積極的に取り組み、柔軟な体と柔軟な脳を身に付け、明るい未来を子どもたちに残してあげられたらいいと思います。

認知症サポーターが新たに誕生しました

7月20日、庄原実業高校3年生を対象に認知症サポーター養成講座を開催し、新たに13人の認知症サポーターが誕生しました。

認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を見守る「応援者」のことです。

今回は、市内のケアマネジャーや介護職員などで構成されるキャラバン・メイトが講師を務め、聖仁会居宅介護支援事業所の横山陽子さん、ハビネスヒル居宅介護支援事業所の吉岡梨絵さんと竹田直美さん、相扶の郷居宅介護支援事業所の正畑知里さんが講師として参加しました。

講座では、認知症の症状や相談窓口についての講義が行われた後、グループワークを行い、医療福祉の専門職と自分たちができるサポートについて意見交換を行いました。

受講者は「今日習ったことを伝えて、周囲のみんなで協力して支えていきたい」「ケアマネジャーや介護福祉士など将来の進路に対する視野が広がった」と話しました。



グループワークの様子

9月は世界アルツハイマー月間、 9月21日は世界アルツハイマーデーです

～令和5年度標語「もっと知ろう もっと語ろう 認知症」～

高齢者福祉課地域包括支援センター係 ☎0824-73-1165

認知症は、脳の病気や障害などにより、認知機能が低下し、日常生活に支障がある状態をいいます。市は、市民の皆さんに認知症の正しい理解を深めてもらうため、認知症の相談を受けたり、出前トークで講座を実施したりしています。

この「世界アルツハイマー月間」を通して認知症について考えてみませんか。



認知症の正しい知識を学ぶ方法

- ▶ 認知症サポーター養成講座を受ける
- ▶ 9月に市内図書館で認知症関連図書の展示を実施しているので行って読んでみる
- ▶ 認知症講座などの講演会へ参加する などがあります。

皆さんも講座を受講するなど、認知症になった本人とその家族への支援について改めて考えてみてください。認知症になっても安心して暮らせる社会づくりを目指しましょう。

家族や近所の人認知症の症状に困っていませんか？

「この症状は認知症かな」「どこに相談したらいいかわからない」「何科を受診したらいいの」など、あなたの周りに認知機能の低下で悩んでいる人はいませんか？

そんな時は市の地域包括支援センターへご相談ください。

市は「認知症初期集中支援チーム」を設置し、相談内容に応じてさまざまな対応をしています。

● 認知症初期集中支援チームとは

家族の相談などにより、複数の専門職が認知症が疑われる人や認知症の人、その家族を訪問し、アセスメント（多様な視点で情報を収集し、課題やニーズを明らかにすること）や家族支援などの初期支援を包括的・集中的に行い、自立生活のサポートを行うチームです。

- ▶ 医療と介護サービスにつながったので良かった
- ▶ 相談をきっかけに、家族が積極的に関わってくれるようになった
- ▶ 認知症初期集中支援チームの対応が終了しても、小まめにサポートしてもらえて助かった

認知症初期集中支援
チームを利用した人の声

連絡先	電話番号
庄原市地域包括支援センター(高齢者福祉課内)	☎ 0824-73-1165
西城サブセンター(西城支所 地域振興室内)	☎ 0824-82-2202
東城サブセンター(東城支所 市民生活室内)	☎ 08477-2-5131
口和サブセンター(口和支所 地域振興室内)	☎ 0824-87-2112
高野サブセンター(高野支所 地域振興室内)	☎ 0824-86-2115
比和サブセンター(比和支所 地域振興室内)	☎ 0824-85-3001
総領サブセンター(総領支所 地域振興室内)	☎ 0824-88-3063



安心・安全な毎日のために

「電子マネーの番号を覚えては詐欺です！」

- ▶ 市内で、携帯電話やパソコンのメールなどを通じて、
- ▶ 有料サイトの未納料金を払って！
- ▶ 高額当選の手数料を払って！
- ▶ パソコンのウイルスを除去する費用を払って！
- ▶ 身覚えのない未納料金や手数料、登録料などの支払いを「電子マネー」で要求する詐欺が増えています。

犯人に指示されるままコンビニエンスストアや、家電量販店で電子マネーを購入し、犯人にこの電子マネーの番号を伝えることで、電子マネーの購入代金がだまし取られています。

コンビニエンスストアの店員から「詐欺ではないか」と声を掛けられても、冷静な心を失い、被害に遭うケースが多発しています。

詐欺の被害に遭わないためには、

- ▶ 不審な画面、メールなどは無視！
- ▶ 表示された電話番号に慌てて連絡しない！
- ▶ 即断よりも相談！必ず誰かに相談する！

などの注意が必要です。

《オトモポリス》で安心・安全！
広島県警察防犯アプリ

皆さんがお住まいの地域で、どんな事件や事故が起きているか知っていますか？

広島県警察安全安心アプリ「オトモポリス」は、生活圏内で発生している事件や事故、不審者情報などをマップで一覧できる機能があります。その他、防犯ブザーの機能や、痴漢・不審者対策の機能などが備わっています。

ぜひ、このアプリをインストールして、さまざまな場面で安全安心のオトモとして活用してください。

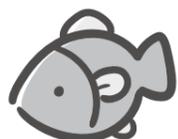
スマホであなたに「オトモ」する
広島県警察 安全安心アプリ
オトモポリス

ちかん撃退 防犯ブザー 防犯マップ機能 現在地送信機能

iOS 端末はこちら Android 端末はこちら

庄原警察署 ☎0824・72・0110

がん予防 自分でできることを 始めよう!



がんは日本人の死亡原因の第1位です。
現在、日本人の2人に1人は、一生のうち何らかのがんにかかり、3人に1人はがんで死亡すると言われています。
がんは、誰もがなる恐れのある身近な病気です。



1. 生活習慣を改善しよう

生活習慣を改善することで、がんになるリスクを減らすことができます。

がん予防法 ~5つの健康習慣の実践~

- ① たばこは吸わない。他人のたばこの煙を避ける。
- ② 飲酒をするときは節度のある量に留める。
- ③ 食事は栄養の偏りをなくし、バランスよくとる。
- ④ 適度な運動など、日常生活を活動的に過ごす。
- ⑤ 適正体重を維持する（太りすぎない、やせすぎない）。



2. がん検診を受診しよう

がんは早期では症状がほとんどありません。一方で、診断と治療の技術が進歩したことにより、早期発見・早期治療ができるようになり、治癒することも可能となってきました。

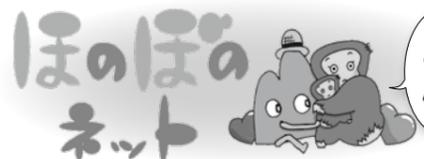
がん予防に取り組むことが何より大切ですが、症状がないまま進行するがんを早期発見するには、定期的ながん検診を受けることも大切です。

そして、がん検診を受診した後、「精密検査が必要」と診断された場合は、必ず医療機関で検査を受けましょう。

がんを経験した人からは「がん検診でがんが見つかったが、すぐに受診して治療ができた。がん検診を受けてよかった」という声を聞きます。

生活習慣を改善しながら、定期的ながん検診を受けて元気な体を維持しましょう。

保健医療課健康推進係 ☎ 0824-73-1255



通信

子育て勉強会に参加してみませんか

ほのほのネット(庄原市子育て世代包括支援センター)
☎0824-73-1214

【令和5年度子育て勉強会予定表】

とき	ところ	内容	申込期限
10月22日(日) 13時から	東城子育て支援センター	【アンガーマネジメント】 怒りは我慢するのではなく、うまく付き合うことで、日々の悪循環や自己嫌悪を和らげることができます。 怒りの波をうまく乗りこなしながら子育て・仕事に向き合しましょう。	10月16日(月)
12月3日(日) 13時から	庄原ひだまり広場	【子どもへの上手な伝え方・ほめ方】 伝え方とほめ方の上達には、ちょっとしたコツがあります。 親の伝えるスキル、ほめるスキルが向上すると、子どもとの関係も良くなり、子どものやる気もアップします。 子どものモチベーションを上げる、ご褒美の使い方についてもお話します。	11月27日(月)
2月18日(日) 13時から	庄原ひだまり広場	【子どもの困った行動への対応】 子どものイヤイヤ期には、泣きじゃく言うことを聞かないなどの行動が出てきます。 困った行動への対策、イヤイヤ期の乗り換え方をお話します。	2月13日(火)

子育てをしていく中で不安になったり、悩んだりすることは誰にでもあります。
そこで、子育て中の悩みを少しでも解消するため、毎年「子育て勉強会」を開催しています。年に4回開催しており、本年度の第1回目は6月18日に開催しました。

本年からはオンラインでの参加も可能となり、初回は28人に参加していただきました。
申し込みは、電話または電子母子手帳アプリ「ほのほのネットアプリ」でのWEB予約ができます。
会場には託児もありませんのでぜひお気軽にご参加ください。



市内のコミュニティ組織が、宝くじを財源とするコミュニティ助成事業の採択を受け、備品を整備しました。
この事業は、地域コミュニティ活動の促進とその健全な発展を図ることを目的に、一般財団法人自治総合センターが行う事業で、地域のコミュニティづくりに役立てられています。
この事業を活用して整備した備品には「宝くじ」のマークを取り付けています。

実施団体名	整備備品	事業実施の成果	上段:助成金 下段:事業費
金田自治会 (写真①②)	長机、パイプ椅子、冷凍冷蔵庫、掃除機、加湿空気清浄機、ノートパソコン、タープ、インクジェット複合機	行事へ参加しやすい環境を整えることで、コミュニティ活動を促進し、地域の連帯感に基づく自治意識の醸成が期待できる。	1,100,000円 1,177,990円
大月自治会 (写真③)	長机、パイプ椅子、発電機、LEDスタンドライト、トランシーバーなど音響機器	地域内の各施設でのイベントの開催がスムーズになり、市内外から多くの来場者を受け入れる体制が確立されることで、地域の活性化が期待できる。	1,700,000円 1,710,280円

自治定住課自治振興係 ☎0824-73-1209

宝くじの助成金で地域活動に必要な備品を整備 (一般コミュニティ助成事業)
コミュニティ助成事業で地域づくり
(令和5年度実施事業)

教育指導課

読書の楽しさを伝えるリーダーを育成
子供司書養成講座



読み語りの練習をする児童

市教育委員会は、毎年、市内小学5・6年生の希望者を対象に「子供司書」の養成講座を行っています。子供司書とは、学校や地域の図書館で読書の楽しさを伝え、周りの友達に本を好きになってもらうよう活動をする、子どもの読書活動推進リーダーです。本年は、16人の児童が受講し、7月15日に、第1回目の講座として「全体研修」を行いました。講座では絵本の読み語りの練習や、ポップ作りの演習などに熱心に取り組みました。児童は「子供司書になるために、本をしっかり読み、新しい世界を体験できる環境づくりを力を入れたい」「本をもっと読んで、その楽しさをみんなに知ってもらえるように頑張る」とやる気に満ちた表情で話しました。養成講座は12月まで図書館業務の体験や、各学校での読み語り、おすすめの本の紹介などの活動を行います。活動が認められれば、県教育委員会から子供司書として認証される予定です。

生涯学習課

力を出し切り、全力疾走
第24回ひろしまクロスカントリー大会



全力でコースを走る参加者

8月19日、道後山高原クロカンパークで、第24回ひろしまクロスカントリー大会を開催し、県内はもちろん、東京都や愛知県、大阪府など全国から総勢1010人の選手が出場しました。当日は、西城中3年の奥津駿佑さんと2年の石川将基さんが「日頃練習した成果を十分発揮し、自分のベストを尽くすことを誓います」と力強く選手宣誓を行いました。大会は、1キロメートルの部から8キロメートルの部までの7種目37部門で行われ、1歳から86歳までが、アップダウンの激しいコースで健脚を競いました。出場者は、西城町に広がる中国山地の大自然を楽しみながら、新記録に挑戦していました。また、大会終了後も出場選手同士で交流を深めていました。

総務課

被爆者の思いを受け継ぐ
平和啓発セミナー



庄原会場(上段)と東城会場(下段)

市は、原爆や戦争の記憶を風化させず、平和の尊さや戦争の悲惨さを後世に伝えていくことを目的に、毎年、平和啓発セミナーを開催しています。本年は、8月3日に庄原市ふれあいセンター1、7日に市役所東城支所で「被爆体験証言の伝承講話」と題した講演を行いました。講演では、被爆体験伝承者(庄原会場は世羅田慎治さん、東城会場は六信静枝さん)が、写真や絵、当時の広島市の地図を使い、被爆者から受け継いだ、原爆投下直後の街や人々の様子、戦時中の暮らし、平和に対する思いについて話しました。参加者は「被爆体験を聞く機会が少なくなっている中で、セミナーを通じて当時の状況や人々の思いを知ることが大変重要だと感じた」「一人一人が小さな幸せ、平和を守っていくことが大きな平和につながっていくのだと感じた」と話しました。市は今後も、戦争や原爆に関する記憶や平和への思いを次世代へ継承していくため、平和啓発を推進していきます。

管財課

建設会社と技術者の施工能力を評価
優良建設工事施工業者の認定、優良技術者の表彰



前列左から榎大蔵組専務取締役京本憲幸さん、木山市長、小林建設代表取締役小林護さん、後列左から榎大蔵組森永浩嗣さん、小林建設 山岡弘樹さん

本年度の庄原市優良建設工事施工業者の認定式ならびに優良技術者の表彰式を7月28日、市役所で開催しました。この制度は、建設会社の技術力向上を目的として、市が発注する契約額500万円以上の建設工事について、品質や出来栄、安全対策など総合的に評価する工事成績評定点が82点以上(満点100点)の成績を収めた工事の施工業者および技術者を認定・表彰するものです。令和4年度に完成した対象工事38件のうち、優れた施工技術により認定基準を満たした2社を「優良建設工事施工業者」として認定し、工事を担当した技術者2人を「優良技術者」として表彰しました。認定制度を創設した平成20年度から、(株)大蔵組は8年度、小林建設は5年度目の認定となりました。木山耕三市長は認定書と表彰状を手渡し「引き続き公共工事の品質確保と、安心・安全で活力ある地域の発展にご協力をお願いしたい」と述べました。

生涯学習課

オリンピック金メダリストから水泳を学ぶ
レベルアップ水泳教室



金藤さんの指導を熱心に聞く参加者

7月2日、庄原市西城温水プール水夢で、レベルアップ水泳教室を開催し、市内小学生40人が参加しました。当日は、リオデジャネイロオリンピック金メダリストで、庄原市スポーツ大使の金藤理絵さんを講師に迎え、初級コースと中級コースに分かれ、指導を受けました。金藤さんは、最初に「泳ぐことが苦手な人でも、水泳教室を通じて、少しでも泳げるようになってほしい」とあいさつしました。初級コースでは、クロールの息継ぎの仕方、腕の使い方を中心に習い、中級コースは、けのび(プールの壁を蹴って、うつ伏せで水面に浮いたまま進むこと)やクロール、平泳ぎの泳ぎ方を教わったほか、速く泳ぐための腕や足の使い方など、本格的な水泳指導が行われました。参加した児童は「これからも練習して、もっと速く泳げるようになりたい」と満足そうでした。

地域交通課

芸備線とバスで満喫する夏の庄原
備後庄原駅発 臨時無料シャトルバスを運行



シャトルバスへ乗り込む乗客

7月29日から8月13日の土日祝日(8月6日を除く)、JR芸備線快速「庄原ライナー」に合わせた臨時無料シャトルバスが運行されました。これは庄原市芸備線・木次線利用促進協議会が、芸備線の利用促進として、公共交通のみでは訪れることが難しい観光地などへの交通手段を整備し、庄原ライナーによる誘客を図るため、実証運行に取り組んだものです。夏休み期間中の運行であったことから、家族で学び・楽しむスポットとして、帝釈峠をはじめ、比和自然科学博物館や道の駅たかのなどを巡るルートを設定しました。利用者は「これまで訪れたことのない場所への周遊を家族で楽しめた」とうれしそうに話しました。



7

6

4

1

庄原市二十歳を祝う会

生涯学習課生涯学習係 ☎0824-73-1188

8月15日、庄原市民会館で「令和5年度庄原市二十歳を祝う会」を開催しました。

本年度は、平成15年4月2日〜平成16年4月1日に生まれた人が対象で、市内在住者および出身者173人が出席しました。

式典では、出席者を代表し熊本心優さんが「一人との関わりを大切にし、おのおの選んだ道をしっかりと歩み、誰かの支えになれるよう、また、人のために貢献できるような力を尽くしたい」と決意を述べました。

また記念行事では、出席者が中学3年生の時に開催された合唱コンクールでの課題曲「この星のどこかで」を全員で歌ったほか、歌手の木山裕策さんが講演を行い、二十歳の皆さんにエールを送るとともに、自身の代表曲「home」などを披露しました。

式典後は友人との再会を喜んだり、写真を撮ったりするなど、たくさん笑顔が溢れていました。



2

【庄原市二十歳を祝う会】

①③⑥大ホールで式典を行った ②20歳を代表して熊本心優さんが決意表明 ④来場者受け付け
⑤前年度の20歳の代表 西野薫さんから本年度の代表 藤田結さんへ花束を贈呈 ⑦木山裕策さんが熱唱
その他の写真は会場入り口付近での記念撮影





暑い夏を盛り上げる

市内各地で夏祭りが開催

No.3

8月中、市内各地域で夏祭りが開催されました。8月5日は、高野福祉保健センター駐車場で「七夕まつり in ふるさと高野」が開催され約800人が訪れました。ステージでは、高野保育所園児やダンスクラブのパフォーマンス、大正琴や地元アマチュアバンドの演奏、伝統芸能「盆踊り・高野民謡」が行われたほか、最後には150発の花火が打ち上げられ、参加者は祭りを楽しんでいました。8月13日は、西城町で「ヒバゴン郷どえりゃあ祭」と「西城ふるさと祭」が初めて同時開催されました。当日は、約3千人が来場し、ステージショーや「ど



▲高野保育所園児のパフォーマンス（七夕まつり in ふるさと高野）



▲浴衣の着こなし方を競う「浴衣コンテスト」（東城遊夏祭）

えりゃあパレード」、豪華賞品が当たる「福餅まき」「子ども大抽選会」などが行われ大いににぎわいました。また、保育所や学校、地域の皆さんが作成した灯籠が、西城川やパレード沿道を照らし、1,500発の花火と共に夏の夜を彩りました。この他にも、8月12日は東城町で「東城遊夏祭」、8月15日は比和町で「ふるさと盆踊り花火大会 in 比和」が行われました。祭りに参加した人は「夏休みに帰省した子どもたちと久しぶりの祭りを楽しめて、良い夏の思い出を作れた」「思ったよりも多くの人が出て驚いた。地域の魅力発信につながればうれしい」と話しました。



▲市街地を練り歩く「どえりゃあパレード」（ヒバゴン郷どえりゃあ祭）



▲出店でにぎわう会場（ふるさと盆踊り花火大会 in 比和）

目指せ昆虫博士!

博物館公開講座「昆虫採集・標本づくり教室」・7/31

No.4

比和自然科学博物館公開講座「昆虫採集・標本づくり教室」が行われ、市内の小学生など46人が参加しました。午前中、参加者は昆虫採集のポイントや注意事項などの説明を受けた後、同博物館周辺の畑や野原で昆虫採集を行いました。気温が高かったためチョウは少なかったものの、参加者は楽しそうにセミやカマキリなど、いろいろな昆虫を捕まえていました。午後からは、同博物館のインストラクターから作り方を教わりながら、捕まえた昆虫の標本づくりを行いました。昆虫のハネや足を傷つけないように、慎重に作業を行った参加者は「生きているように形を整えるのが難しかったけど、自分で捕まえた昆虫を標本にできたのがうれしかった」と話しました。



▲インストラクターに教わりながら標本を作る参加者

接種券の発送対象者
ワクチンを接種するには、必ず接種券が必要です。各対象者には、9月11日以降、順次接種券を発送します。
▼令和5年春開始接種の対象者（65歳以上、医療・高齢者施設従事者、基礎疾患がある人）
↓5月8日～9月19日にオミクロン株対応ワクチンの接種を受けた人
↓右記以外の5歳以上の入
↓令和4年9月20日～令和5年5月7日にオミクロン株対応ワクチンの接種を受けた人

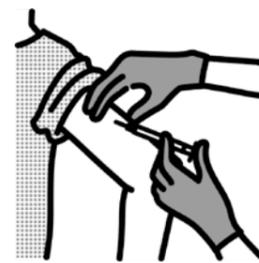
接種券の発送対象者

接種券の発送対象者
ワクチンを接種するには、必ず接種券が必要です。各対象者には、9月11日以降、順次接種券を発送します。
▼令和5年春開始接種の対象者（65歳以上、医療・高齢者施設従事者、基礎疾患がある人）
↓5月8日～9月19日にオミクロン株対応ワクチンの接種を受けた人
↓右記以外の5歳以上の入
↓令和4年9月20日～令和5年5月7日にオミクロン株対応ワクチンの接種を受けた人

接種券の発送対象者

接種券の発送対象者
ワクチンを接種するには、必ず接種券が必要です。各対象者には、9月11日以降、順次接種券を発送します。
▼令和5年春開始接種の対象者（65歳以上、医療・高齢者施設従事者、基礎疾患がある人）
↓5月8日～9月19日にオミクロン株対応ワクチンの接種を受けた人
↓右記以外の5歳以上の入
↓令和4年9月20日～令和5年5月7日にオミクロン株対応ワクチンの接種を受けた人

接種券の発送対象者
ワクチンを接種するには、必ず接種券が必要です。各対象者には、9月11日以降、順次接種券を発送します。
▼令和5年春開始接種の対象者（65歳以上、医療・高齢者施設従事者、基礎疾患がある人）
↓5月8日～9月19日にオミクロン株対応ワクチンの接種を受けた人
↓右記以外の5歳以上の入
↓令和4年9月20日～令和5年5月7日にオミクロン株対応ワクチンの接種を受けた人



接種券の発送対象者
ワクチンを接種するには、必ず接種券が必要です。各対象者には、9月11日以降、順次接種券を発送します。
▼令和5年春開始接種の対象者（65歳以上、医療・高齢者施設従事者、基礎疾患がある人）
↓5月8日～9月19日にオミクロン株対応ワクチンの接種を受けた人
↓右記以外の5歳以上の入
↓令和4年9月20日～令和5年5月7日にオミクロン株対応ワクチンの接種を受けた人

接種券の発送対象者

接種券の発送対象者
ワクチンを接種するには、必ず接種券が必要です。各対象者には、9月11日以降、順次接種券を発送します。
▼令和5年春開始接種の対象者（65歳以上、医療・高齢者施設従事者、基礎疾患がある人）
↓5月8日～9月19日にオミクロン株対応ワクチンの接種を受けた人
↓右記以外の5歳以上の入
↓令和4年9月20日～令和5年5月7日にオミクロン株対応ワクチンの接種を受けた人

接種券の発送対象者
ワクチンを接種するには、必ず接種券が必要です。各対象者には、9月11日以降、順次接種券を発送します。
▼令和5年春開始接種の対象者（65歳以上、医療・高齢者施設従事者、基礎疾患がある人）
↓5月8日～9月19日にオミクロン株対応ワクチンの接種を受けた人
↓右記以外の5歳以上の入
↓令和4年9月20日～令和5年5月7日にオミクロン株対応ワクチンの接種を受けた人

Camera Report カメラレポート



顔よりも大きい!

キャベツの収穫体験・7/7

No.2

総領保育所の園児が、総領自治振興区のスタッフとキャベツの収穫を体験しました。収穫したのは、総領自治振興区が用意した畑で育ったキャベツで、「保育所や小学校の園児・児童の農業体験に活用してもらいたい」との思いから育てられたものです。園児は、自治振興区のスタッフや先生と一緒に切り取ったキャベツを、「重たい」と少しふらつきながら、元気よく畑の端まで運びました。収穫が終わった後、園児は「虫がいて怖かったけど楽しかった」「たくさん取れてよかった」と話し、喜んでいました。収穫は数日に分けて行われ、総領保育所の年中・年長すべての園児が収穫を体験しました。



▲大きなキャベツを運ぶ園児

「もしも」に備えて

口和自治振興区 防災研修会・7/4

No.1

「防災研修会」が口和自治振興センターで開催され、口和自治振興区の住民39人が参加しました。研修会では、三次消防署口和出張所の職員を講師に迎え、救命救急の方法について学びました。参加者は、模擬人形を使用して胸骨圧迫動作（心臓マッサージ）を実践したほか、AEDの使い方から、AEDで電気ショックを与えた後に胸骨圧迫を繰り返す一連の流れを体験しました。体験を終えた参加者は「緊急事態では、冷静さを保って救急処置を行う必要があるが、そのためには日頃から訓練と体験を積み重ねることが大切だ」と話しました。



▲胸骨圧迫動作を実践する参加者

母子保健事業

●保健医療課母子保健係 ☎0824-73-1214

事業名	とき	ところ	持ってくるもの	備考
母子健康手帳交付	10月2日(月)・16日(月)9時～17時	保健医療課母子保健係	<ul style="list-style-type: none"> ・出産予定日と受診した病院名が分かるもの ・本人確認書類(運転免許証など) ・通帳・印鑑 	事前予約が必要
	10月14日(土)10時～12時	庄原ひだまり広場(こども未来広場内)		事前予約が必要(先着2組)
	9月25日(月)9時～12時	東城支所		事前予約が必要
育児相談	10月10日(火)10時～12時	庄原ひだまり広場(こども未来広場内)	母子健康手帳	事前予約が必要。支所での相談を希望する場合はお問い合わせください。

住宅・土地統計調査にご協力ください

総務省統計局(広島県・庄原市)は、10月1日を基準日に「令和5年住宅・土地統計調査」を実施します。この調査は、住生活に関する最も基本的で重要な調査で、全国約340万世帯を対象とした大規模な調査です。調査は昭和23年以来5年ごとに行われており、今回で第16回目を迎えます。調査へのご協力をお願いします。

調査をお願いする世帯は
9月下旬に、調査対象となる世帯を調査員が訪問します。

回答方法

- ・インターネット回答
- ・郵送回答
- ・調査員への手渡し

ご注意ください
調査員は顔写真入りの調査員証(立入検査証)を携帯しています。統計調査員を装って個人情報等を搾取する「かたり調査」にご注意ください。

問い合わせ
行政管理課広報統計係
☎0824・73・1159

教えてください、
おうちのこと。
暮らしやすい
未来のために、
みんなの回答が
必要です。

10/1 みんなのおうち調査

住宅・土地統計調査

令和5年

総務省統計局・都道府県・市区町村からのお知らせ

相談

インボイス制度説明会・登録要否相談会
10月1日から、消費税の仕入税額控除の方式としてインボイス制度が始まります。これに合わせて、税務署で説明会・相談会を開催します。

①インボイス制度説明会
消費税の基本的な仕組みやインボイス制度の概要などについて説明します。

とき
9月20日(水)、10月18日(水) 10時～11時

②登録要否相談会
個別に事業実態を伺いながら、それぞれの実態に応じて登録の考え方を案内します。

とき
9月20日(水)、10月18日(水) 11時～12時

その他
ところ
庄原税務署
事前予約・問い合わせ
庄原税務署
☎0824・72・0464

あなたの相談をお受けします

悩みごと、心配ごと、
困りごとなど、
お気軽にご相談を

各種相談	とき	ところ	備考	問い合わせ
人権相談	庄原 10月3日(火)・17日(火) 13時30分～15時30分	庄原市ふれあいセンター	人権擁護委員	広島法務局三次支局 ☎0824-62-5070
	西城 10月12日(木)13時30分～15時30分	西城支所		
	高野 10月10日(火)13時～15時	高野支所		
	比和 10月3日(火)13時30分～15時30分	比和自治振興センター		
	総領 10月11日(水)9時～11時	総領保健福祉センター		
行政相談	庄原 10月19日(木)13時～15時	庄原市ふれあいセンター	行政相談委員	市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154
	西城 10月19日(木)13時30分～15時30分	西城支所		西城支所市民生活係 ☎0824-82-2124
	東城 10月19日(木)13時30分～15時30分	東城支所		東城支所市民生活係 ☎08477-2-5121
	口和 9月29日(金)9時30分～11時30分	口和保健福祉センター		口和支所市民生活係 ☎0824-87-2112
	高野 10月10日(火)13時～15時	高野支所		高野支所市民生活係 ☎0824-86-2115
	比和 10月3日(火)13時30分～15時30分	比和自治振興センター		比和支所市民生活係 ☎0824-85-3001
	総領 10月11日(水)9時～11時	総領保健福祉センター		総領支所市民生活係 ☎0824-88-3063
法律相談	庄原 10月6日(金)13時～16時	庄原市ふれあいセンター	広島弁護士会による無料相談。要予約。	広島弁護士会 ☎0120-969-214
	高野 9月22日(金)13時～16時	高野支所		
生活安全相談	毎週月～金(祝日・年末年始除く) 9時～12時、13時～16時	市民生活課市民生活係	生活安全相談員	市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1244
		東城支所市民生活係		東城支所市民生活係 ☎08477-2-5121
家庭児童相談	毎週月～金(祝日・年末年始除く) 9時～16時	児童福祉課あんしん支援係	家庭児童相談員	家庭児童相談専用 ☎0824-73-1243
消費生活相談	毎週月～金(祝日・年末年始除く) 9時～12時、13時～16時	市民生活課市民生活係内 庄原市消費生活センター	消費生活相談員	庄原市消費生活センター ☎0824-73-1228 市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154
認知症カフェ	庄原 「とんぼ」 10月3日(火)13時30分～15時	庄原ショッピングセンタージョイフル2階	相談・情報交換参加費100円	高齢者福祉課地域包括支援センター係 ☎0824-73-1165
	西城 「コスモカフェ」 10月5日(木)13時30分～15時	西城保健福祉センター(しあわせ館)		西城支所保健福祉係 ☎0824-82-2202
	東城 「おれんじカフェ・ええ塩梅」 9月26日(火)13時30分～14時30分	東城支所		東城支所保健福祉係 ☎08477-2-5131
	比和 「あしたのカフェ」 9月19日(火)13時30分～15時	小和田南集会所		比和支所市民生活係 ☎0824-85-3001
障害者相談員定期相談会	庄原 10月16日(月)13時30分～15時30分	庄原市ふれあいセンター	身体障害者相談員	社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
	比和 10月3日(火)9時30分～12時	比和ふれあいセンター		身体・知的障害者相談員
療育手帳巡回判定会	庄原 10月19日(木)10時～16時	市役所本庁舎1階相談室	1カ月前までに要予約	社会福祉法人 広島県福祉事業団 ☎082-400-9010
身体障害者補装具判定会	聴覚 10月17日(火)13時～13時45分	広島県三次庁舎第3庁舎2階 三次市十日市東4-6-1	1週間前までに要予約	社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
心の健康相談	10月17日(火)13時～14時30分	広島県北部保健所 三次市十日市東4-6-1	精神科医師による無料相談。事前予約が必要。	広島県北部保健所保健課 ☎0824-63-5185

子育て世代包括支援センター事業 ●子育て世代包括支援センター ☎0824-73-1214

事業名	とき	ところ	内容	備考
出張相談	10月14日(土) 10時～12時	庄原ひだまり広場(こども未来広場内)	妊娠・出産・子育てに関する情報提供や相談	10月13日(金)17時までに事前申し込みが必要。

※掲載の内容は、天候などの影響により中止・延期・変更となる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

※掲載の内容は、天候などの影響により中止・延期・変更となる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

相続・遺言に関する相談会

広島司法書士会では、相続・遺言に関する多様な悩みを抱えた人の相談に無料で応じる相談会を実施します。

とき 10月1日(日)、11月5日(日)、12月3日(日)、2月4日(日)、3月3日(日) 10時～16時

ところ 広島司法書士会総合相談センター

(広島市中区上八丁堀6・69)

電話相談 ☎082・511・7196

問い合わせ・面談予約 広島司法書士会 ☎082・221・5345

催し

第9回庄原書道墨友会展

とき 10月5日(木)～8日(日) ところ 庄原自治振興センター

問い合わせ 庄原書道墨友会 会長 平岡慶舟 ☎0824・72・0677

口和モーモー祭 庄原「みりの祭典'21」

「みりの祭典'21」を合同で開催します。

見て、食べて、参加して楽しめる、和牛をメインとしたお祭りです。これまでコロナ禍のため延期となっていました。今年度は5年ぶりに開催します。

黒毛和牛の炭火焼きのほか、牛の大作進や牛と子ども綱引きなどを行います。

その他、「比婆牛」をはじめとした特産品・加工品の販売や各団体の展示、歌謡ショーなどがあります。

とき 10月7日(土) 10時～16時 8日(日) 9時～16時

ところ 口和総合運動公園 問い合わせ 口和モーモー祭実行委員会 (口和支所地域振興室内) ☎0824・87・2113

庄原市の地域医療を考える会 市民公開講座

中山間地域の医療機関で、現在どのような治療を受けることができ、治療を受けた後どのように日常復帰できるかなどについて、地域住民・患者の視点に立つて、庄原赤十字病院の3人の医師が分かりやすく解説します。

また、庄原でも都市部と変わらない最新の治療が提供されていることを、併せて紹介いたします。

とき 10月7日(土) 14時から 講座名 この地域でずっと暮らしたい②

講師 ▼外科 中村 峻輔医師 ▼循環器内科 原田 侑医師 ▼漢方・疼痛緩和 中村 裕二医師

ところ 庄原市民会館大ホール 問い合わせ 保健医療課医療予防係 ☎0824・73・1155 庄原赤十字病院 経営企画課 ☎0824・72・3111

募集

県営住宅入居者

市内の県営住宅のうち、新たに空きが生じた住宅の入居者を募集します。

その他

高速道路沿線に竹木などを所有している人へ

台風による強風などにより、沿線から高速道路内に竹や樹木が倒れ込み、走行中の車に衝突する事故が発生しています。

高速道路沿線で、竹木や森林を所有している人は、竹や樹木が高速道路内に倒れる危険がないように、伐採などの対策をお願いします。

道路上に竹木などが倒れ込む危険性がある場合、または実際に倒れ込んだ場合には、安全確保のため伐採することになります。

なお、倒木・倒竹による事故が発生した場合、所有者責任が問われることがあります。

高速道路の安全確保に、ご協力をお願いします。 問い合わせ 西日本高速道路株式会社中国支社三次高速道路事務所 ☎0824・62・5135



宝くじスポーツフェア ドリーム・サッカー in 庄原

庄原市に、サッカー元日本代表選手がやってくる「宝くじスポーツフェア」ドリーム・サッカーin庄原を開催します。

当日は、小学4年生～中学1年生を対象としたサッカー教室や、地元チームと元日本代表選手とのドリーム・ゲーム(親善試合)などのイベントを実施します。

詳しくは、市ホームページに随時掲載します。

とき 11月11日(土)・12日(日) ところ 上野総合公園



問い合わせ 日本サッカー協会 いちばんづくり課いちばんづくり係 ☎0824・73・1278

三次高等技術専門校 4月入校生 募集訓練科

受付期間 10月17日(火)～19日(木) ※最終日消印有効 受付時間 8時30分～17時 申し込み・問い合わせ 広島県ビルメンテナンス協同組合 県営住宅管理グループ ☎0824・62・6575

▼自動車整備科(期間2年・高等学校卒業見込みの人) ▼溶接加工科(期間1年) ▼建築科(期間1年) ▼介護サービス科(期間6ヵ月)

※各科の見学はいつでもできます。希望する人は、事前に連絡をしてください。

応募対象者 令和5年度中学校・高等学校卒業見込みの人 応募受付期間 9月19日(火)～10月27日(金)必着

選考 選考日 11月9日(木) 選考内容 数学・国語・面接 合格発表 11月28日(火) 問い合わせ 三次高等技術専門校 ☎0824・62・3439

令和5年度 自衛官など採用案内

～平和を、仕事にする。陸海空自衛官募集～

Table with columns: 募集項目, 応募資格, 受付期間, 試験日程. Rows include 自衛官候補生, 第3回一般曹候補生, 防衛大学校学生, 防衛医科大学校.

詳しくは自衛隊広島地方協力本部ホームページをご覧になるか、三次地域事務所にお問い合わせください。 問い合わせ 自衛隊広島地方協力本部三次地域事務所 ☎0824-62-0350

市税・保険料の納期限のお知らせ

- 国民健康保険税(普徴) 3期 介護保険料(普徴) 4期 後期高齢者医療保険料(普徴) 3期

納期限 10月2日(月)

「口座振替」にしている人は、納期限の前日までに残高確認をお願いします。

収納課収納係 ☎0824-73-1511

Advertisement for 'Roukkin' (らくきん) autonomous body joint financing system, listing services like education, housing, and medical fees.

国営備北丘陵公園だより



備北コスモスピクニック

9月16日(土)~10月15日(日) 開催!

開園時間 9時30分~17時(入園は16時まで)
※ただし10月8日(日)は9時30分~15時(入園は14時まで)

備北公園管理センター ☎ 0824-72-7000
(<https://www.bihokupark.jp/>)



入園料・駐車料無料日

とき 9月18日(月・祝)・10月8日(日)・15日(日)
※9月18日(敬老の日)は65歳以上の人に限り入園料無料。さらに65歳以上の人が乗車している車両に限り駐車料無料。(大型は除く)
※10月8日(日)・15日(日)は、秋の都市緑化月間および都市公園制度制定150周年の取り組みの一つとして入園料無料。

サンフレッチェ広島応援イベント

サンフレッチェ広島の非売品ユニフォームなどのレアグッズが当たるビンゴ大会や、スタジアムグルメ屋台の出張販売、ステイジイベントなどを開催! また、サンフレッチェ広島OBの森崎浩司アンバサダーや、中島浩司さんがゲストとして登場します。
とき 9月23日(土)・24日(日) 10時~16時
ところ 大芝生広場
料金 観覧無料、飲食・体験有料



※掲載の内容は、天候などの影響により中止・延期・変更となる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

10月から市役所からの着信番号が変わります

現在、市から電話が掛かってきた場合、ナンバーディスプレイ機能のある電話機には「050」「0824」「08477」のいずれかで始まる番号が表示されています。10月からは、「050」の表示がなくなり、「0824」または「08477」で始まる番号のいずれかが表示されるようになります。

なお、市役所へ電話を掛ける際は、従来通りの電話番号で掛けてください。

問い合わせ
企画課デジタル推進係
☎ 0824・73・1148



全国大会

第35回全国健康福祉祭
えひめ大会剣道交流大会
(10月28~31日/愛媛県松山市)
広島県代表
高木 保(東城町)
田淵 秀彦(西城町)

中国大会

第54回全国中学校柔道大会
(8月17~20日/徳島県鳴門市)
個人-50kg級
団体戦
吉田 真太
(長洲中2年・川手町)

第55回全日本ジュニア柔道体重別選手権大会
中国ブロック予選会
(7月9日/岡山県岡山市)
男子73kg級 第2位
三河内陸至
(崇徳高2年・永末町)

男子73kg級 第3位
野崎 廉雅
(開星高3年・高町)

県大会

第33回広島県シニア総合スポーツ大会
(5月27日/東広島市)
剣道
60~69才の部 第3位
高木 保(東城町)
70才以上の部 第2位
田淵 秀彦(西城町)

第55回全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 広島県予選会

(6月17日/広島市中区)
男子73kg級 優勝
三河内陸至
(崇徳高2年・永末町)

第32回日整全国少年柔道大会 広島県予選

(7月9日/広島市中区)
2年の部 優勝
吉田 希生(庄原小2年)

その他

第58回庄原市少年少女水泳記録会
(7月28日/西城温水プール水夢)
〔各種目第1位〕
5年女子25m背泳ぎ 永田 皇葵(板橋小5年)
6年男子25m背泳ぎ 小野 颯佑(東城小6年)
6年女子25m背泳ぎ 大歳 美結(庄原小6年)
5年男子25mバタフライ 藤本 晴斗(栗田小5年)
5年女子25mバタフライ 大坂 奈央(高野小5年)
6年男子25mバタフライ 田邊 宇海(東城小6年)

BIHOKU FireDRONE FANTASIA

7千発の花火と300機のドローンがシンクロする花火大会! 花火とドローンが息を合わせ、二つの要素が夜空で一体となり、壮大な物語を生み出します。

とき 10月8日(日)
※雨天決行(荒天の場合中止)
※ドローンは天気・強風の影響で実施できない可能性があり、その場合は花火の打ち上げのみ実施。
イベント日程
15時30分開場/19時30分開演
/20時15分終演(予定)
※イベント会場(料金所)への最終入場は19時30分まで。
※公園への入園は14時まで、15時に閉園。チケットを持っている人も、一旦公園から退園してください。

参加費

▼チケット 5千円
※中学生以下は、チケットを持っていない保護者同伴に限り入場無料。
▼駐車券 千円
※中型車以上は3千円、料金は当日徴収。
※二輪と自転車は無料。

6年女子25mバタフライ

明賀 琴音(東小6年)
5年男子25m自由形 本山 拓弥(口和小5年)
5年女子25m自由形 水田 理陽(東城小5年)
5年男子50m自由形 伊達 竜斗(峰田小5年)
5年女子50m自由形 大坂 奈央(高野小5年)
6年男子50m自由形 吉岡 瑞稀(東城小6年)
6年女子50m自由形 明賀 琴音(東小6年)
5年女子25m平泳ぎ 小川 舞華(東城小5年)
6年男子50m平泳ぎ 田邊 宇海(東城小6年)
100mメドレーリレー 高尾 昊佑(東城小6年)
田邊 宇海(東城小6年)
落合 桜史(東城小6年)
佐々木可鈴(東城小5年)



※「あっぱれ! 庄原」に該当する人の情報は、行政管理課広報統計係(☎0824・73・1159)までお寄せください。

問い合わせ

(株)グリーンウインズさとやま
☎ 0824・72・7211
※詳細は公式サイトをご覧ください



ひばの里 秋の神楽

中国地方の伝統芸能である神楽を上演します。
とき 9月17日(日) 穴笠神楽団
9月24日(日) 宮乃木神楽団
10月1日(日) 比婆荒神神楽社
上演日程
午前の部 11時~12時30分
午後の部 13時30分~15時30分
※演目の内容により、上演時間が前後する場合があります。
※演目などの詳細は公園ホームページでご確認ください。
ところ ひばの里 神楽殿
※記載の内容は、8月現在のものです。天候などにより、変更または中止となる場合があります。事前にホームページなどでご確認ください。

相續空き家問題成年後見等でお困りの方
あなたの世代で解決しませんか?
業務のご案内
●不動産の名義変更 ●成年後見
●相続登記・遺言 ●会社の登記
●借金の整理 ●簡易裁判所訴訟代理等
●詳しくはホームページに記載しています。
庄原 司法書士 検索
司法書士法人 飯田 一生
広島北部司法事務所 (訴訟代理権認定第524014号)(司法書士登録番号828号)
平成29年4月1日より庄原市役所に事務所移転しました。
住所 〒727-0012 広島県庄原市中本町一丁目8番16号 TEL0824-72-2315(要予約)

住まいの事なら何でもご相談下さい。
ながたか 長岡商事株式会社
災害時に一番早く復旧するプロバングス。
『安心と笑顔が増えるお手伝いをする。』
ガス供給と共に、より良い生活環境の場をご提案致します。
☎ 0120-184-268
広島県庄原市是松町 5020 番地 40 TEL0824-72-0561

売れる物なら何でも 出張買取
地域密着だからできる大手さんより高い買取価格!
創業64周年の安心と信頼。
出張 0円 見積 0円 キャンセル料 0円
担当鑑定士: 末宗 良規
出張買取の美幸 株式会社ジュエルグランスエムネ
☎ 0120-66-1035

人の動き（庄原市の人口）
令和5年7月末現在

【住民基本台帳登録人口】
人口 32,242人（前年比-714人）
男 15,416人（前年比-337人）
女 16,826人（前年比-377人）
世帯数 15,009世帯（前年比-148世帯）
【うち外国人】人口 486人（前年比31人）
【各地域の内訳】
○庄原地域 16,916人（7,883世帯）
○西城地域 2,974人（1,326世帯）
○東城地域 6,790人（3,300世帯）
○口和地域 1,753人（750世帯）
○高野地域 1,502人（640世帯）
○比和地域 1,158人（544世帯）
○総領地域 1,149人（566世帯）

休日診療のご案内

9月・10月の休日診療については、次のとおりです。
●庄原市休日診療センター
診療日：日曜・祝日・年末年始（12/30～1/3）
☎診療日 ☎0824-72-9900
診療日以外 ☎0824-73-1155（保健医療課）
●東城地域

9月24日(日)	こぶしの里クリニック	☎08477-2-5255
10月1日(日)	三上クリニック	☎08477-2-1151
8日(日)	東城病院	☎08477-2-2150
15日(日)	瀬尾医院	☎08477-2-0023

市税・水道料金・下水道使用料納付は口座振替が便利です

手続きは各金融機関の窓口をお願いします。残高確認も忘れないでください。
●収納課 ☎0824-73-1511
●下水道課管理係 ☎0824-73-1175
●広島県水道広域連合企業団庄原事務所業務係 ☎0824-73-1197

お詫びと訂正

8月号の内容に誤りがありました。お詫びして次のとおり訂正いたします。
▶9ページ
「学校ごとの児童生徒数の推計」の表 令和5年度（5月1日現在）の山内小学校の5・6年生が複式学級となっていますが、正しくは単式学級でした。
▶裏表紙
「自衛官募集相談員委嘱式」画像の説明文（誤） 左から木山市長、林さん、垣内本部長（正） 左から木山市長、林さん、柿内本部長

広報日記
▶二十歳を祝う会の会場では、友人との再会を喜ぶ皆さんの笑顔で溢れていました。本年度20歳を迎える皆さん、おめでとうございます。㊦㊧

食育コーナー
☎農業振興課 ☎0824-73-1131

庄原市食農教育モデル事業

市は、「食農モデル事業」として、地域の農業や食の安全などに対する、子どもたちの関心・理解を深めるため、市内の小・中学校で「食」と「農業」の大切さを学習する取り組みを支援しています。
本年度は、市内の小学校11校がこの事業に取り組みました。
米・野菜づくりのほか、りんごやぶどう、ブルーベリーなどの栽培・収穫作業などを体験しました。
東城小学校では、昨年度に引き続き、夏野菜の栽培が行われました。児童が自ら苗を選び、苗植えから収穫までの農作業を体験。その後、育てたトマト・ナス・トウモロコシを使ってピザを作りました。
ピザを食べた児童は「自分で育てたから、苦手な野菜でもおいしく食べられた」と笑顔で話しました。
また、授業では、地域の農業者山本一守さんを講師に迎え、児童が野菜を作る上で不思議に感じることや、興味のあることについて聞きました。
これらの活動は、毎日の「食」と食材ができるまでの「農」の結び付きを、子どもたちに知ってもらえる大切な機会となっており、食に関する意欲の向上や、地域農業への理解を深めることにつながっています。



東城小学校の取り組みの様子

献血のご案内
☎保健医療課 ☎0824-73-1155

献血を次のとおり実施します。400ml 献血限定ですので、皆さんのご協力をお願いします。

実施日	会場	受付時間
9月20日(水)	市役所本庁舎	10時～11時15分 12時30分～15時
10月10日(火)	県立広島大学 庄原キャンパス	11時～15時

比和自然科学博物館 ☎0824-85-3005
開館：9時～17時（年末年始休館）

**中村慎吾名誉館長追悼展
「虫と草木と人びとと-博物館のあゆみと共に-」開催中**

本年1月3日、中村慎吾名誉館長の突然の訃報が届きました。中村名誉館長は、昭和6年に比和町で生まれ、1歳で父母に連れられ韓国に移住、終戦の年（昭和20年）に14歳で1人帰国し、県立格致中学校に転入学しました。同校を卒業後、比和町立比和小学校の助教諭に採用され教鞭を取る傍ら、本格的に自然科学研究者としての道を歩み始めました。その後カミキリムシの研究で博士号（農学博士）を取得し、小学校長・比和町教育長・比婆科学教育振興会事務局局長などを務めながら、中国山地の自然を中心に研究に取り組み、県内の自然科学研究の礎を築きました。また、研究活動を通して、多くの研究者や教育関係者を育成しました。中村名誉館長は、当館が開館した昭和26年から初代学芸員を務め、その後も博物館の運営に関わってきました。昭和63年、比和町教育長に就任と同時に館長を兼務すると、新博物館の建設や地学分館の設置など、施設の近代化と内容の充実を進めました。平成25年からは名誉館長として、今まで博物館運営の柱として活躍してきたのです。



今回の特別展のテーマは「虫と草木と人びとと」です。これは、中村名誉館長の著作集のタイトルを元としています。鹿野忠雄という作家の著書である「山と雲と蕃人と」というフレーズを気に入り、このタイトルを決めたそうです。展示は、タイトルのとおり「虫」「草木」「人びと」を通して、中村名誉館長の生涯の活躍を紹介しています。「虫」では、カミキリムシの研究内容や広島県昆虫誌、台北日本人学校に赴任した際に収集した昆虫標本などを展示しています。「草木」では、晩年取り組んだ吾妻山・比婆山・道後山植物調査や、植物採集の代表的な標本を展示しています。「人びと」では、モグラサミットや比婆科学教育振興会、日本を代表する植物学者牧野富太郎に影響された植物画、中村名誉館長が人生で大きな影響を受けた人達などを紹介しています。在りし日の中村名誉館長の姿を想像しながら、展示をご覧ください。

しょうばら九日市

毎月9日は、しょうばら九日市 10月
★出店者募集中！あなたのお店を開こう。
★毎月20日が出店申込締め切りです。
★申し込みは楽笑座
とき 10月9日（月・祝）9時～13時
ところ 中本町・まちなか広場周辺（のぼりが目印）
詳しくはHPで <http://kunchi-ichi.jp/information.html>

**市民ギャラリー「アート多愛夢」
情報BOX**（西本町二丁目1番21号）

市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。
▶第19回庄原絵手紙大賞作品展
とき 10月8日(日)～10日(火) 10時～15時
☎庄原市文化協会事務局 ☎080-6310-0125（桑原）
※展示を希望する団体(または個人)はお申し込みください。使用料は要りません。

食彩館しょうばら ゆめさくら ☎0824-75-4411

9月・10月のイベント情報
▶ゆめさくら講座
○草木染め教室
とき 9月25日(月)「ベニバナ」
①9時～12時 ②13時～16時
▶展示・販売&イベント
○水庄会作品展
とき 10月6日(金)～15日(日)
○シルバー人材センター(てしごとの会)
とき 10月21日(土)・22日(日)

ロビーコンサート
☎生涯学習課 ☎0824-73-1189

庄原 とき 9月25日(月) 12時15分～12時55分
ところ 市役所本庁舎 1階市民ホール
東城 とき 9月25日(月) 17時30分～18時30分
ところ 市役所東城支所 1階ホール
出演者
平曲弾き語り奏者 荒尾 努
演奏曲目
祇園精舎、敦盛最期、那須与一
▶荒尾 努
平曲（正調平家琵琶）弾き語り奏者。慶應義塾大学非常勤講師。大学在学中の平成11年から平曲を学び始め、数少ない継承者として、平家ゆかりの厳島神社をはじめ全国の神社仏閣、小中学校、大学、平家に関連する各種イベントを中心に演奏・講演活動を行っている。平成17年には宮島観光大使に就任。NHK「探検ロマン世界遺産」やWOWWOW「美術のゲノム」などテレビ番組にも出演。平成21年公開の映画「禅ZEN」では琵琶演奏を担当。チャイコフスキーモスクワ音楽院やアリゾナ州立大学から招聘を受けるなど、活躍の場を世界に広げている。

※掲載の内容は、天候などの影響により中止・延期・変更となる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

自治
定住課

地域に関わる人を増やすには

第1回みんなつながる地域交流会

7月20日、庄原自治振興センター多目的ホールで「第1回みんなつながる地域交流会」を開催し、67人が参加しました。

この交流会は、市民が主役のまちづくりを進め、自治活動の推進や課題解決に取り組むことを目的に、市と庄原市自治振興区連合会が共同で開催しています。

当日は、島根県立大学地域政策学部准教授の田中輝美さんが「関係人口と地域づくり」をテーマに講演を行いました。田中さんは講演の中で、過疎地域の取り組み事例を紹介しながら「人口減少が進む中で、地域に関わる人（関係人口）と連携して地域づくりを考えることが大切」と話しました。

参加者からは「より多くの人に庄原市に関わってもらうことが大切だと感じた」という意見や「地域活動の進め方についてアドバイスをもらいたい」という質問がありました。

市は自治振興区と協力し、さまざまなまちづくり活動を行っています。7月18日には、22自治振興区の区長・会長が出席し、庄原市自治振興区連合会通常総会が開催されました。総会では、自治振興区相互の連携を強化することを確認し、本年度の事業計画や各自治振興区の取り組み状況など意見交換が行われました。



参加者で記念撮影（庄原市自治振興区連合会総会）



講演会の様子（みんなつながる地域交流会）

商工
観光課

光に包まれる帝釈峡

帝釈峡ライトアップイベント

佐々木リョウさんが熱唱
(クロージングイベント)

8月4日～20日に、帝釈峡の永明寺周辺で「帝釈峡ライトアップイベント」を開催しました。

このライトアップは、名勝・国定公園帝釈峡記念事業の一つとして、夏休み期間中、多くの人に帝釈峡を訪れてもらいたいとの思いから開催しました。

ライトアップの初日と最終日には、それぞれ「オープニングイベント」「クロージングイベント」を行いました。

4日のオープニングイベントには、木山耕三市長、入江嘉則神石高原町長、庄原市ふるさと大使の西田篤史さん、庄原市ジビエ大使の松本裕見子さんによるトークショーも行い、4人の軽快なトークで会場には笑顔が溢れました。

また、書道家の坂口赤道さんによる書道パフォーマンスや、佐々木リョウさんのライブなど、さまざまなステージイベントを行ったほか、多くのバザーが出版され食べ物の販売などを行いました。

会場を訪れた人は「雄大な自然のライトアップは、幻想的な雰囲気だった。期間中、何度か訪れたい」と話しました。

名勝・国定公園帝釈峡記念事業

「帝釈峡マラニック大会」参加者募集中！

とき 11月26日(日)

拠点会場 帝釈峡スコラ高原
(受け付け・スタート・ゴール)

ロングコースの部 (65km)

【定員】200人 【参加費】1万2千円

ショートコースの部

①雄橋コース (12km)
②神龍湖コース (9km)

【定員】各150人

【参加費】4千円

参加申し込み

【申込期限】10月22日(日)

【申し込み方法】

①「RUNNET」から申し込み
②申込書をいちばんづくり課へ提出

問い合わせ・申し込み 帝釈峡マラニック大会実行委員会事務局 (いちばんづくり課 ☎ 0824-73-1278)